

# 「街フォトスクラップ」

みんなのイマをパシャ!!



## 五輪旗が鹿屋にやってきました

10月13日、2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けての機運を高める「フラッグツアー」の一環で、五輪旗が鹿屋にやってきました。この日は高隈小学校で受け入れセレモニーを実施。子どもたちは、県内を巡回し高隈にやってきました五輪旗をはためかせながら、3年後の東京オリンピック・パラリンピックの成功を祈っていました。



## スポーツの秋に心地よい汗を流す

10月9日、鹿屋中央公園やメルヘンスポーツ鹿屋などで「スポーツフェスタinかのや」が開催されました。これは、体育の日に様々なスポーツを体験できる、秋の恒例イベント。この日は21種目の体験が行われ、鹿屋体育大学体操競技部による体操競技体験・実演では、体操器具を操る難しさを体験しながら、同部員の迫力ある演技を楽しんでいました。



## 特攻基地跡にこだまする同期の桜

10月14日、平和公園慰霊塔前広場で「旧海軍航空隊申良基地出撃戦没者追悼式」が開催されました。平和公園は、戦時中に特攻基地となった申良基地があった場所。式典には全国から遺族など約150人が参列し、元隊員たちによる「同期の桜」の合唱や、遺書や平和へのメッセージの朗読が行われ、参列者は573柱の御霊に黙とうを捧げ、平和への思いを新たにしました。



## グラウンド・ゴルフの熱戦

10月16日、かのやグラウンド・ゴルフ場で「2017南日本新聞社杯グラウンド・ゴルフ鹿屋大会」が開催されました。これは、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及振興を推進するとともに、心身の健康増進を図る大会。この日は県内外から1,000人以上の選手が参加し、総合優勝やホールインワン賞などの各賞を目指して熱戦を繰り広げていました。



## 町内会対抗で健脚を競う

10月9日、輝北コミュニティセンター周辺で「第2回輝北駅伝競走大会」が開催されました。この大会は、4町内会対抗で幅広い年代の選手が男女混成チームを結成して行われるもので、輝北コミュニティセンター周辺の10区間9.5kmで実施。選手の熱走に、沿道から熱い声援が送られました。  
優勝=市成 2位=高尾 3位=平南 4位=百引



## 高限地区で「稲刈り行事」

10月14日・16日、上高限町で、高限地区コミュニティ協議会による「稲刈り行事」が行われました。16日は、高隈小学校・高隈中学校の児童・生徒や先生、地域住民らが一緒になって、協議会の田んぼの稲を鎌を使って刈り取りました。刈り取った米のうち、モチ米については、平成30年2月に行われた高限地区の伝統行事「鉤引き祭り」に奉納される予定です。



## 和田井堰で豊作を祈願



10月17日、打馬2丁目の和田井堰公園で、「和田新田土地改良区水神祭」が開催されました。これは江戸時代後期に和田井堰が築造され、川東町までの通水が可能になったことを記念して、毎年行われているもの。この日は、王子町鉦踊り保存会と、光同寺鉦踊り保存会の鉦踊りが奉納され、関係者や地域住民とともに、今年の豊作を祈願しました。



## 外国のボードゲームに挑戦

10月14日、市立図書館で、「図書館de学び塾～ボードゲームを楽しもう～」が開催されました。これは外国のボードゲームを学びながら遊ぶイベント。参加者は、独特のカードやコマを使った初めてのゲームに、最初は少し戸惑いながらも、外国人講師らから遊び方を学んでいくうちに徐々に面白さを実感。大人も子どもも笑顔でゲームを楽しんでいました。



## 市役所が寄席に

10月20日、市役所ロビーで三遊亭小笑さんによる「ロビー落語」が行われました。小笑さんは下高隈町の出身で、現在「二ツ目」として東京を拠点に活躍し、若手落語家として活躍するユニット「成金」のメンバーとしても活動している落語家。落語が始まると、市役所を訪れた多くの人が足を止め、即席の寄席となった会場は笑い声に包まれました。



## 予約型乗合タクシーが実証運行開始

10月3日、天神町で、「かのや市乗合タクシー（天神・船間地区）」の運行開始式が行われました。このタクシーは、高齢化率が高く公共交通の不便地域に運行される「予約型乗合タクシー」で、今年度、市が初めて天神・船間地区に導入したものの。鹿児島第一交通㈱で予約を受け付け、毎週火・金曜日に天神・船間地区と花岡・西原地区間を1日5便運行しています。



## 八月口説踊りが7年ぶりに復活

10月17日、川東町の八月口説踊りが7年ぶりに復活し、同町の光同寺鉦踊り保存会とともに、水神碑や田の神像の前で、踊りを奉納しました。八月口説踊りは、もともと紋付袴姿の男性と、紫頭巾に留袖姿の女性が、鉦や太鼓などに合わせて踊る伝統芸能ですが、今回は女性有志の皆さんが踊りの一部を復活。関係者は、町内で久々に舞う踊りに感無量の様子でした。